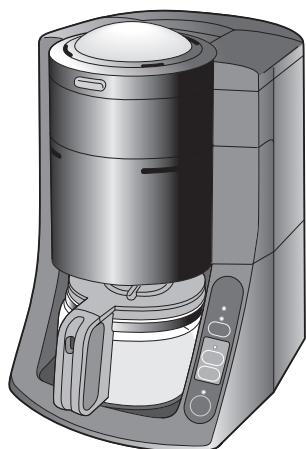


Panasonic®

取扱説明書

沸騰 **浄水** コーヒーメーカー (家庭用)

品番 NC-A56



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。(P.15をご参照)

保証書別添付

豆をひいてドリップまで全自动

◆香り高いコーヒーをご自宅で

ひき方、抽出コースの組み合わせでお好みのコーヒーが楽しめます。

●同じ組み合わせでも、豆の種類によって味が変わります。

●コーヒー名称は参考例です。

コース メッシュ フィルター	マイルド	リッチ
粗びき	渋み少なく マイルドに ・まろやかなストレート ・アメリカンコーヒー	渋みをおさえて 後味良く ・スペシャルティコーヒー* ・ブレンドコーヒー
中細びき (ふつう)	コクと苦味の バランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー	コク、苦味を しっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ

*際立つ素晴らしい風味を持つとともに、豆の栽培から流通、ばい煎までの品質管理を適正に行われたコーヒーの中でも、特に認められたもの。

豆から全自动で ひきたてのおいしさ

豆と水をセットしたら、ボタンを押すだけでマイコン制御により、豆をひいてコーヒーを自動的に蒸らして抽出します。

充実機能

- 豆をひき終えたら豆容器を自動でお掃除 **シャワーオートクリーニング** (P.10~11)
- ドリップが終了して2時間後に自動OFFする **保温自動OFF** (P.10~11)
- でき上がりを **ブザーでお知らせ** (P.10~11)
- 酸味を抑えてソフトな味わいに **ミネラルフィルター** (P.9)

沸騰浄水

沸騰と活性炭フィルターの効果でカルキを90%以上カット。
コーヒー本来の味を引き出します。

- 必ず活性炭フィルターを取り付けてください。(P.6)

もくじ

ページ

確認とご注意

安全上のご注意 4

各部の名前・付属品と扱い方 6

毎日の使い方

コーヒーをいれる 8

コーヒーをいれる(お好みで楽しむ) 12

お手入れ 13

お知らせ

消耗品・別売品について 15

故障かな? 16

保証とアフターサービス 18

仕様 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

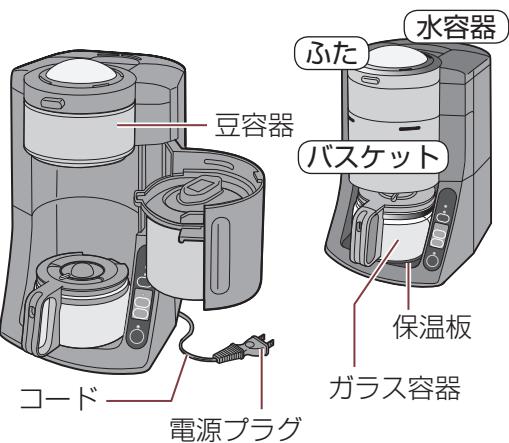
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

してはいけない
内容です。

実行しなければ
ならない内容です。



警告

■電源プラグやコードは

次のことしない

(ショート・絶縁不良・劣化などによる発火・感電の原因)

●電源プラグ・コードを傷めない

傷付ける、加工する、高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込むなど

●コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
→コード・電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)

次のこと守る

(発煙・発火・感電の原因)

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

●電源プラグのほこりなどは定期的に取る

(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)

→電源プラグを抜き、乾いた布でふく。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

(発煙・発火・感電・けがの原因)

<異常・故障例> ●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。

●コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする。

●本体が変形したり、異常に熱くなったりする。

●使用中に異常な回転音がする。

→すぐに販売店に点検・修理を依頼してください。

●ガラス容器の取っ手がぐらついたり、容器にひび割れなどができる。

発火や、
けがなどを
防ぐために…



注意

■本体の取り扱いは

次のことしない

●不安定な場所や熱に弱い敷物の上、火気の近く
やIHクッキングヒーターの上で使わない
(火災の原因)

●抽出中にガラス容器を外さない
→ふたやバスケットも開けない。

●ガラス容器を載せたまま本体を動かさない
(やけどの原因)

●豆容器の刃は鋭利なため、直接手を入れない、
触れない
(けがの原因)
→粉を落とすときは棒などを使う

●壁や家具の近くで使わない
(蒸気による変形・変色の原因)

**使用中や使用後しばらくは
保温板やその周辺に手を触れない**

接触禁止 (やけどの原因)

→水容器やふた周辺にも触らない。

■本体は

**自分で絶対に分解や
修理、改造をしない**

(火災・感電・けがの原因)
→修理(消耗部品の交換は
除く)は販売店にご相談
ください。

**本体を水につけたり、
水をかけたりしない**

(感電・ショートによる
発火の原因)

**子供など取り扱いに
不慣れな方だけで使
わせたり、乳幼児に
触れさせたりしない**

(感電・けがの原因)

■使用中は

**ガラス容器なしで
使わない**

(やけどの原因)

**蒸気が出る所に
触ったり、顔などを
近づけない**

(やけどの原因)

お手入れは冷えてから行う

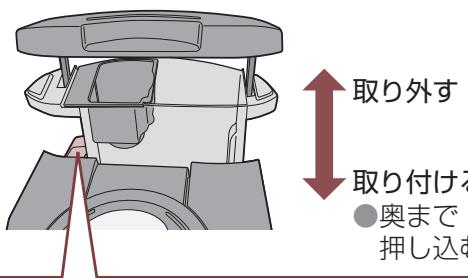
(やけどの原因)

→持ち運びや、活性炭フィルター、メッシュフィルター
の取り外しも本体が冷えてから行う。

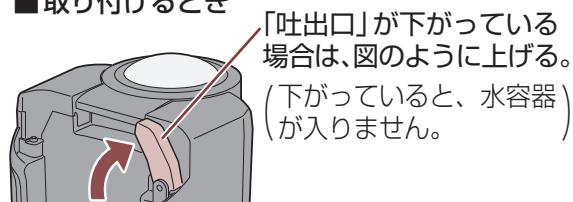
各部の名前・付属品と扱い方

水容器

■取り外し方・取り付け方

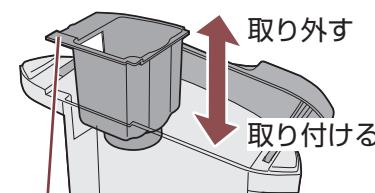


■取り付けるとき



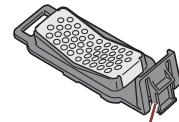
■活性炭フィルターを着脱するとき

水容器を本体から取り外した状態で行う。

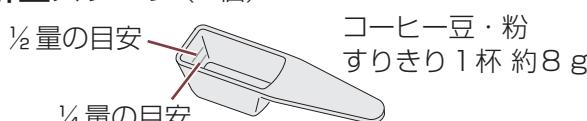


付属品

メッシュフィルター(粗びき) (1個)



計量スプーン(1個)



ペーパーフィルター(5枚)

●市販のものも使えます。
サイズ: (1×2) または (102)

活性炭フィルター

消耗部品 (P.15)

●初めて使うときは、
微粉を落とすために
必ず流し洗いする。
(P.13)

豆容器

メッシュフィルター (中細びき) (P.12)

本 体

保温板

ガラス容器ふた

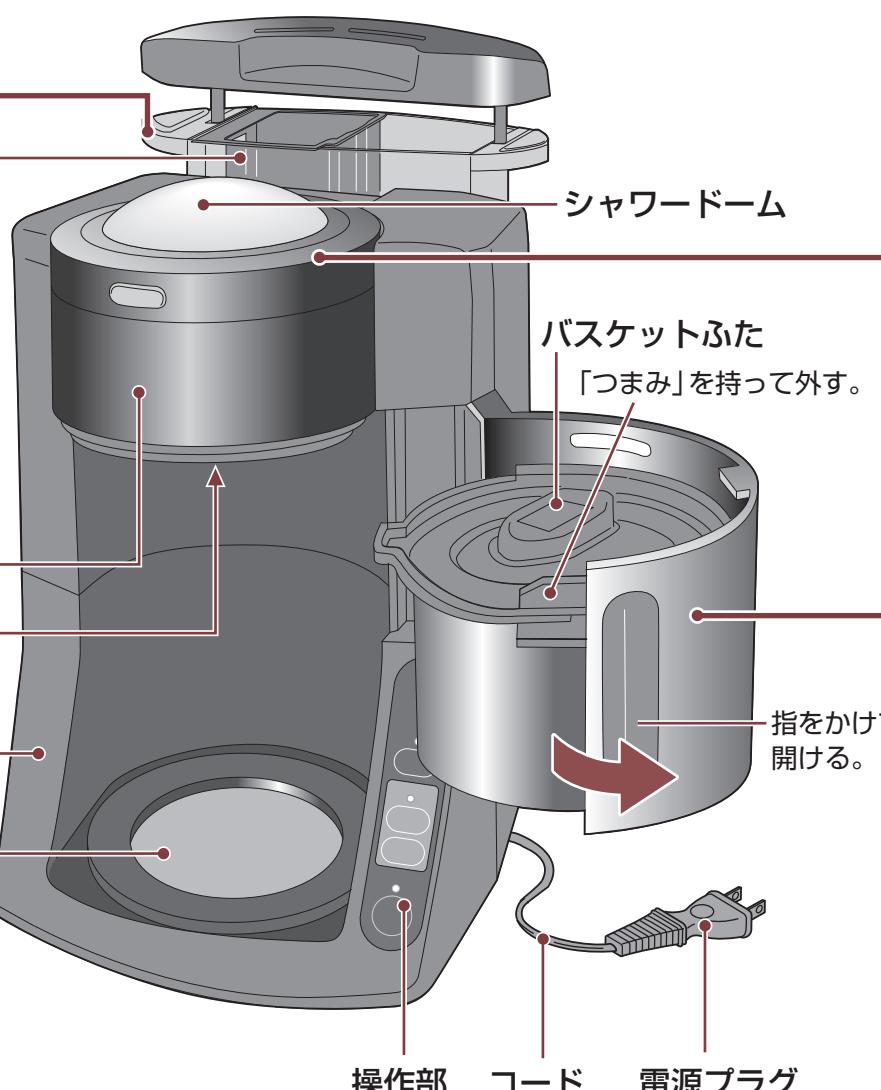
ミネラルフィルター (P.9)

●交換は不要です。

ガラス容器 (完成ガラス 容器)

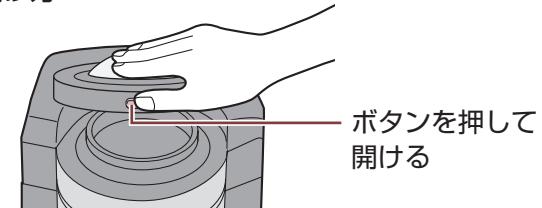
●目盛りはでき上がり量の目安。

1カップ: ホット(約 120 ml)
アイス(約 60 ml)
マグカップ(約 180 ml)



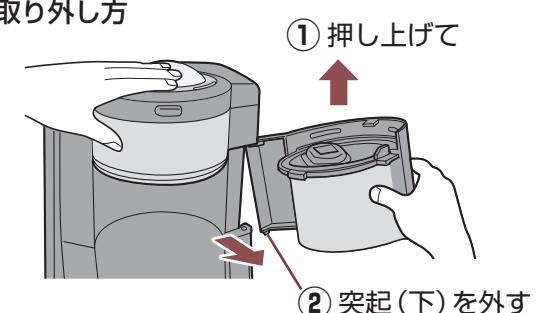
豆容器ふた

■開け方



バスケット

■取り外し方



■取り付け方



ご使用前に

初めて使うときや長期間使っていなかったときは、次のように洗浄してください。

- ①各部品を洗う (P.13~14)
 - ②取り付ける
 - ③水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」まで水を入れて を押して抽出する (P.10)
 - ④ を押して切り、湯を捨てる
- (③~④を1~2回繰り返す)

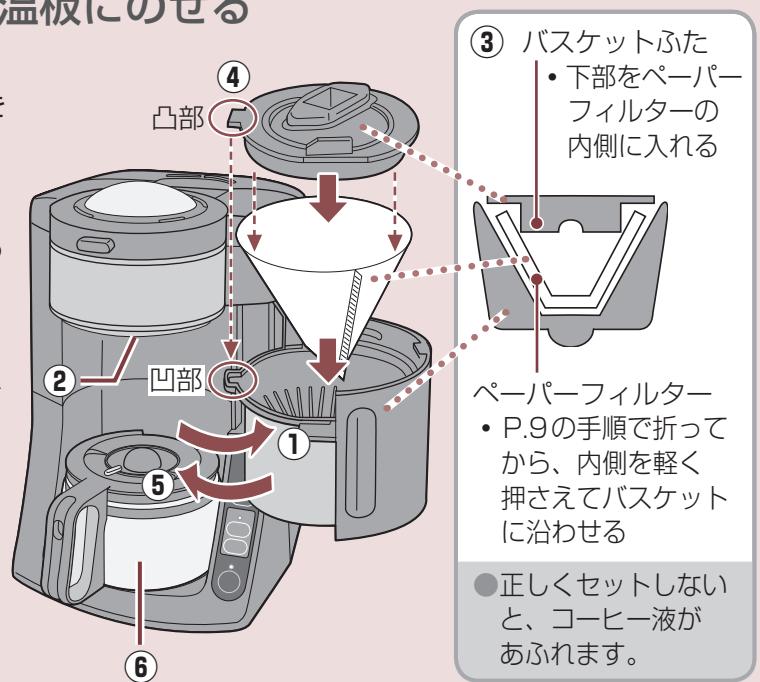
ご使用上のお願い

- 豆容器にコーヒー豆以外を入れないでください。
(故障の原因)
- 水容器に水以外(お湯・牛乳など)を入れないでください。
(故障の原因)
- ガラス容器を他の熱源(電子レンジやコンロなど)にかけたり、傷をつけたりしないでください。
(破損の原因)

コーヒーをいれる

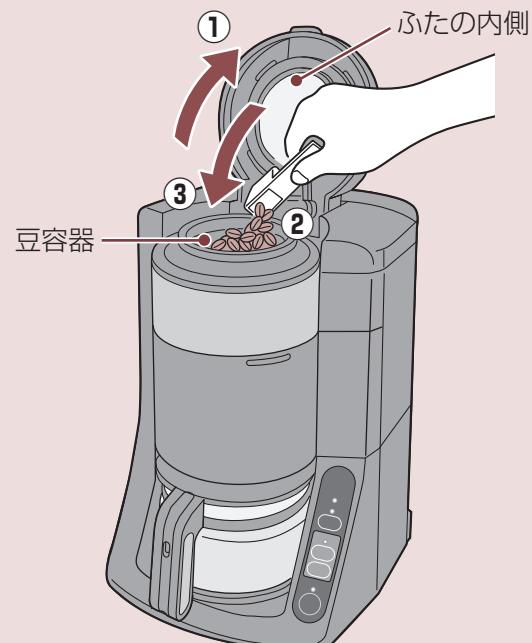
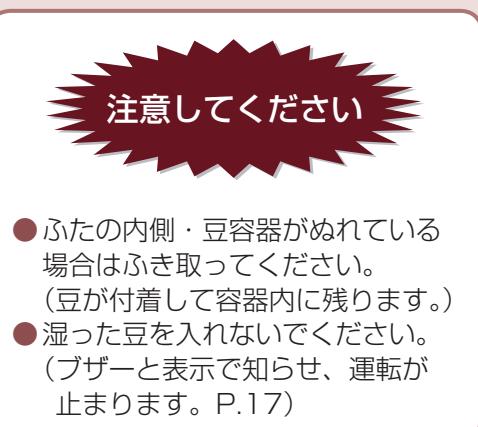
1 ペーパーフィルターをバスケットにセットし ガラス容器を保温板にのせる

- バスケットを開ける
- メッシュフィルターを取り付ける(P.12)
- バスケットふたを取り外してペーパーフィルターをセットする
- バスケットふたを取り付ける
 - ふたの凸部とバスケットの凹部をあわせる
- バスケットを閉める
- ガラス容器を保温板にのせる

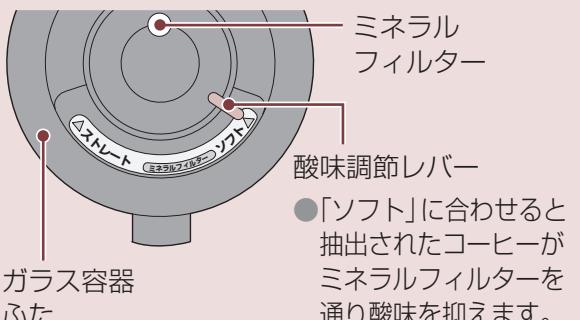


2 コーヒー豆を豆容器にいれる

- 豆容器ふたを開ける
- 豆を入れる
- ふたを閉める



酸味調節のしかた



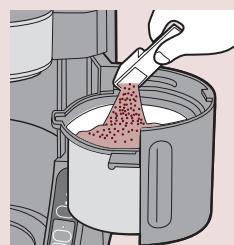
- 「ソフト」に合わせると抽出されたコーヒーがミネラルフィルターを通り酸味を抑えます。
(ミネラル成分の添加ではありません。)

ペーパーフィルターの折り方



コーヒー粉を使うとき

ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる



- コーヒー粉はペーパーフィルター用(中びき粉)を使ってください。
- 豆容器に入れないでください。
(抽出時に豆容器からコーヒー液があふれ故障の原因)

お願ひ

- バスケットふたを正しくセットしてください。
- 豆容器ふた、バスケットは確実に閉めてください。
(確実に行ってないと、ボタンを押してもブザーで知らせてスタートしません。P.16)

コーヒー豆(粉)量の目安(計量スプーンすりきり)と でき上がり時間の目安(室温・水温20℃)

	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
アイスコーヒー	1カップ	—	—
	2カップ	2 1/4杯 (約18 g)	約6分
	3カップ	3 1/4杯 (約26 g)	約7分
	4カップ	4 1/4杯 (約34 g)	約7.5分
	5カップ	5杯 (約40 g)	約8分

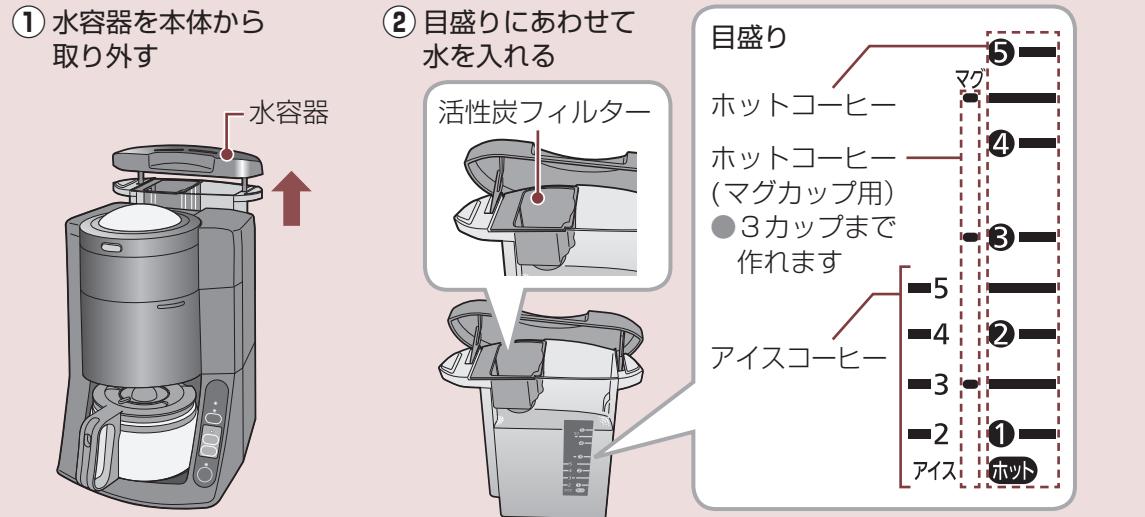
	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
ホットコーヒー	1カップ	1 1/4杯 (約10 g)	約6分
	2カップ	2 1/4杯 (約18 g)	約7.5分
	3カップ	3 1/4杯 (約26 g)	約8.5分
	4カップ	4 1/4杯 (約34 g)	約10分
	5カップ	5杯 (約40 g)	約11分

	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
ホットコーヒー (マグカップ用)	1カップ	2杯 (約16 g)	約6.5分
	2カップ	3 1/4杯 (約26 g)	約8.5分
	3カップ	4 1/4杯 (約34 g)	約10.5分
	4カップ	—	—
	5カップ	—	—

- 計量スプーンすりきり5杯(約40 g)を超える量を入れないでください。
(ふた周辺から湯が飛び散ったり、バスケットからコーヒーがあふれたり、モーターが故障することがあります。)
- でき上がり時間について
 - 「マイルド」コースは、約1分短くなります。
 - コーヒー粉を使うときは、約1分短くなります。
- でき上がり時間・温度は、室温・水温などによって異なります。

コーヒーをいれる(つづき)

3 水容器に水を入れ、本体にセットする



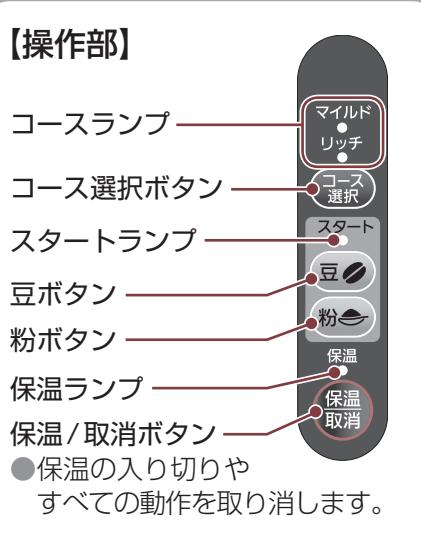
お願い

- 活性炭フィルターが付いているか確認してください。
- ホットコーヒーの目盛り「5」を超える水を入れないでください。(故障の原因)
- 水容器を奥まで押し込み、確実にセットしてください。(セットしていないと、ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。P.17)
- 水容器を本体にセットしてから水を入れないでください。(水が水管に流れ込むため水量が多くなります。)
- 活性炭フィルターに水を注がないでください。(水が横から漏れます。)
- 本体にセットした後は、水容器を外さないでください。(本体から水が出てきます。)
- 水容器に、お湯を入れないでください。(勢いよく多量の蒸気が出ます。)

4 電源プラグを差し込み希望のコースを選んでスタートさせる

▶ 自動的に保温

- ① 電源プラグを差し込む
- ② コース選択ボタンを押し、コースを選ぶ
(選んだコースランプが点灯)
- ③ 豆または粉ボタンを選んで押す
(スタートランプが点灯)
- ④ 抽出が終了したら、コーヒーを注ぐ
- ⑤ 使用後は保温取消ボタンを押して、保温を切り、電源プラグを抜く



途中でコースを変更するとき

コースランプ 点滅中(約20秒間)
に変更する。

豆と粉を間違って押したとき

- 抽出終了後は自動的に保温します。(約2時間)
- コーヒーがあふれだすのでガラス容器を傾けすぎないでください。



切り忘れを防止するために、保温は約2時間で自動的に切れます。

- コーヒーをいれているときは、モーターの音や水が本体内を循環する音がします。

- コーヒー豆を使うときには豆ボタンを押した
→取り消して、豆ボタンでやり直す。(豆がぬれている場合は、新しい豆でやり直してください。)
- コーヒー粉を使うときには豆ボタンを押した
→ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。(P.17)

コーヒーをいれる(お好みで楽しむ)

続けてコーヒーをいれるときは

- ①  を押して電源を切る
- ② ふたの内側・豆容器の水分をふき取る
(豆を使うときのみ)
- ③ P.8~11の手順1~4に従ってコーヒーをいれる
 - ・水容器は、電源を切って2~3分たってからセットしてください。(すぐにセットすると蒸気が勢いよく出ます。)
- 続けてコーヒーをいれると、2回目以降は味が濃くなることがあります。

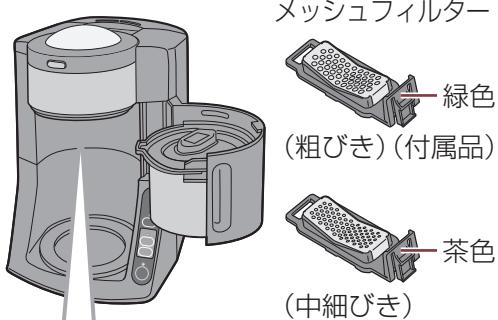
熱いコーヒーがお好みのかたは

- あらかじめカップを熱湯などで温めておいてから注いでください。
- ホットコーヒーの保温は15分くらいまでとしてください。(風味を損なわないため)

メッシュフィルターとコース選択で組み合わせる

メッシュフィルター(中細びき/粗びき)とコースの組み合わせでお好みの味に仕上げます。

- お買い上げ時には、中細びきを取り付けています。



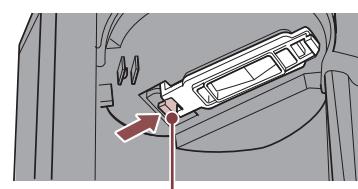
コース メッシュ フィルター	マイルド	リッチ
粗びき	渋み少なく マイルドに ・まろやかなストレート ・アメリカンコーヒー	渋みをおさえて 後味良く ・スペシャルティコーヒー※ ・ブレンドコーヒー
中細びき (ふつう)	コクと苦味の バランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー	コク、苦味を しっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ

※際立つ素晴らしい風味を持つとともに、豆の栽培から流通、ばい煎までの品質管理を適正に行われたコーヒーの中でも、特に認められたもの。

メッシュフィルターは豆容器の下側にあります。

- 取り付け、取り外しは本体が冷えてから行ってください。

■取り外し方



つまみを矢印方向に動かす。

アイスコーヒーの作り方

準備するもの

- ・アイスコーヒー用豆、粉
- ・氷
- ・シロップ、生クリームなど



- ① P.8~11の手順1~4に従ってコーヒーをいれる
- ② グラスに氷を入れ、抽出したコーヒーを注ぎかき混ぜて冷やす
- ガラス容器に氷を入れてかき混ぜないでください。(ガラスに傷がつき割れる原因)
- アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2~6カップで作ってください。

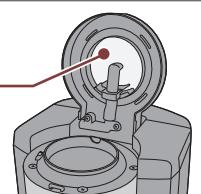
お手入れ

- 必ず電源プラグを抜いて、各部が冷えてから行ってください。
- 台所用洗剤(中性)を使う場合は、薄めて使ってください。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器・熱湯は使わないでください。(変形や割れる原因)
- いつも清潔な状態に保つため、使用のたびにお手入れを行ってください。

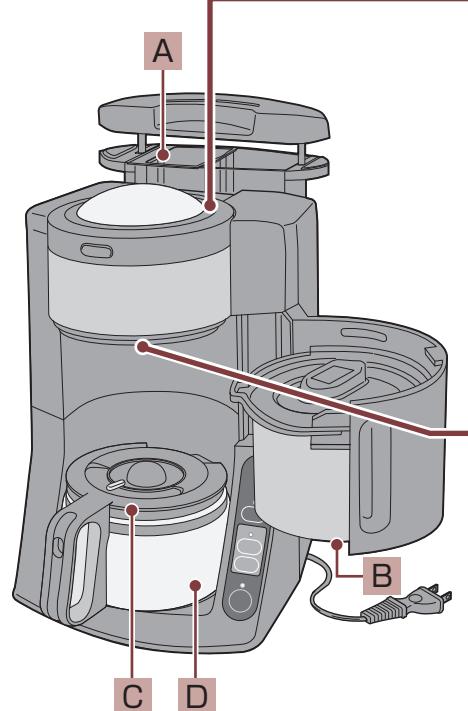
本体・ふた・豆容器・保温板

よく絞ったふきんでふく

- ふたの内側
- 飛び散った粉はふき取る



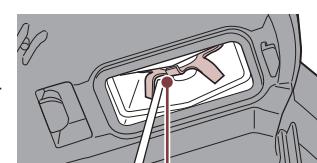
豆容器に豆が残ったり汚れが目立つようになったら



メッシュフィルター

やわらかいスポンジで洗う

- 取り外してください。(P.12)
(取り外したら、豆容器に詰まった豆・粉を取り除いてください。)



棒などで刃を回して粉を落とす(指で落とさない)

水容器・活性炭フィルター・バスケット・バスケットふた・ガラス容器・ガラス容器ふた

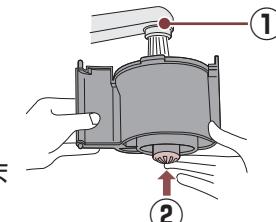
やわらかいスポンジで洗う

A 活性炭フィルター

- 取り外して
洗い流しする
(P.6)



- ブラシ・洗剤・漂白剤などを使わないでください。
(傷やにおいが付いたり浄水効果がなくなります。)



B 滴漏れ防止弁

- 取り外して洗い流しする(P.7)
- ① 水を入れる
- ② 滴漏れ防止弁を押し上げたまま2~3回振る

- ガラス容器を外したときに、残った滴がバスケットから漏れないようにするものです。(粉が詰まると、弁が動かなくなりバスケットからコーヒーが漏れる原因)

C ガラス容器ふた

- 洗剤・漂白剤などを使わないでください。
(ミネラルフィルターの効果がなくなります。)

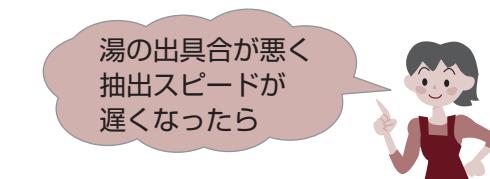
D ガラス容器

- 磨き粉・たわし・スポンジのナイロン面を使わないでください。(ガラス面に傷が付くと割れる原因)

お手入れ(つづき)

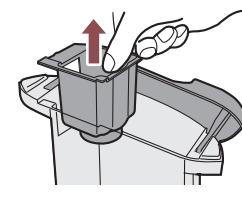
使っているうちに、水の中に含まれているミネラル分が本体の水管や水容器などに付着してきます。これは「湯あか」と言われているもので、付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーの抽出スピードが遅くなります。

- 水質により湯あかの付き具合が変わります。ミネラル分の多い水質(特にヨーロッパ産硬質などのミネラルウォーター)は、湯あかが付きやすくなります。

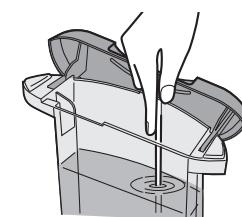


クエン酸で洗浄する

- ① 必ず活性炭フィルターを取り外す(P.6)



- ② 水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」まで水を入れてからクエン酸約 10 g(大さじ 1)を入れて、はしなどで混ぜる



- ③ 電源プラグを差し込み を押して抽出する

- ④ を押して切り、湯を捨てる

- ⑤ 水だけで 1~2 回繰り返す(クエン酸のにおいを取るため)

お願い

- 活性炭フィルターを付けたまま、クエン酸で洗浄してしまった場合は、活性炭フィルターを流し洗いしてください。(クエン酸のにおいを取るため)

消耗品・別売品について

販売店でお求めください。

■消耗品

[2014年10月現在]

品名	部品番号	希望小売価格
活性炭フィルター	ACA95-119-K	1,000円(税抜き)

●交換の目安について

1日1回使用したとき: 約2年(水質、使い方により異なります。)

■別売品

[2014年10月現在]

品名	部品番号	希望小売価格
完成ガラス容器(ふたなし)	ACA10-142-K	2,300円(税抜き)
計量スプーン	ANC8330-569R	100円(税抜き)
ペーパーフィルター(50枚)	ANC362S-5370	300円(税抜き)
ジャー pocot 洗浄用クエン酸*	SAN-80(40 g × 2パック)	280円(税抜き)

* 200 g、400 g 入りもあります。

*添付の注意書をよくお読みになってからご使用ください。

*食品添加物につき、食品衛生上無害です。

消耗品・別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store <http://jp.store.panasonic.com/>

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

<http://club.panasonic.jp/>



*このサービスはWEB限定のサービスです。

故障かな？

(お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。)

症 状	原 因	直 し 方	症 状	原 因	直 し 方
ボタンを押しても通電しない	●電源プラグが外れている	▶ ●電源プラグを差し込む	運転中ブザーが鳴りランプが点滅・点灯している	●豆を入れすぎて、詰まった	▶ ●メッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す。(P.12)
ボタンを押しても「ピーピーピー」とブザーが鳴りスタートしない	●バスケットや豆容器ふたが確実に閉まっていない ●バスケットふたを忘れている	▶ ●バスケットや豆容器ふたを確実に閉める(P.8・9) ▶ ●バスケットふたをする。(P.8)	マイルド ○ — 点滅 リッチ ○ — 点灯	●湿った、またはぬれた豆をひき、詰まった	▶ ●メッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す。(P.12) ●新しい豆でやり直す。
コーヒー粉がバスケットからあふれる	●メッシュフィルターを取り付けていない ●メッシュフィルターを確実に取り付けていない	▶ ●好みのメッシュフィルターを確実に取り付ける(P.12)	運転中ブザーが鳴りランプが点滅している	●メッシュフィルターや、刃に豆や粉が付着したまま豆をひいた(ミルが回り続けるため強制的に止まります)	▶ ① メッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す。 ② メッシュフィルター、刃についている豆や粉を取り除く。(P.12)
コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	●ガラス容器ふたをしていない ●ペーパーフィルターを確実にセットしていない	▶ ●ガラス容器ふたをする。(P.8) ▶ ●ペーパーフィルターを確実にセットする。(P.8)	マイルド ○ — 交互に リッチ ○ — 点滅	●豆を入れ忘れた	▶ ① 保温／取消ボタンを押す。 ② 豆を入れ、豆ボタンを押す。(P.10～11)
コーヒー豆が豆容器に残る	●豆容器ふたの内側・豆容器がぬれたままで豆を入れた	▶ ① メッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す。(P.12) ② 豆容器や豆容器ふたの内側の水分をふき取る。 ●新しい豆でやり直す。	運転中ブザーが鳴りランプが点滅している	●コーヒー粉を使ったときに、豆ボタンを押した	▶ ① 保温／取消ボタンを押す。 ② 粉ボタンを押す。(P.10～11)
湯の出具合が悪く、抽出スピードが遅い	●湯あかが付着している	▶ ●クエン酸で洗浄する。(P.14)	運転中ブザーが鳴りランプが点滅・点灯している	●水容器に水を入れていない ●水容器を確実にセットしていない	▶ ① 保温／取消ボタンを押す。 ② 水容器に水を入れ、確実にセットする。(P.10～11) ③ 粉ボタンを押す。(P.10～11)
「ピーピーピー」とブザーが鳴り、運転が止まった	●バスケットや豆容器ふたを途中で開けた	▶ ミルの途中で止まった または ミルが終わって止まった ●豆容器に豆が残っているときは豆ボタンを押す。 ●豆が残っていないときは粉ボタンを押す。(P.10～11) ▶ 保温中に止まった ●保温／取消ボタンを押す。(P.10～11)	スタート ○ — 点滅 保温 ○ — 点灯	●ご使用に伴い、ミネラルフィルターが茶色に変色することがあります、使用上差し支えありません。 (交換は不要です)	●上記の処置で直らないときは、電源プラグを抜き、10秒以上たってから再度操作してください。 (それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。)

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(P.16~17)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 コーヒーメーカー

●品番 NC-A56

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間(ただし、活性炭フィルターは、消耗部品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、このコーヒーメーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター 365日
受付9時~20時
電話 フリー 0120-878-365
※携帯電話・PHSからご利用になれます。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリー 0120-878-554
※携帯電話・PHSからご利用になれます。
・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

パナソニック 修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌 011-894-1255 旭川 0166-22-3015 帯広 0155-33-8478 函館 0138-48-6630 青森 0172-62-0880 秋田 018-868-7008 岩手 019-645-6130 宮城 022-387-1117 山形 023-641-8100 福島 024-991-9308 栃木 028-689-2555 群馬 027-254-2075 茨城 029-864-8756 埼玉 048-728-8960 千葉 043-208-6034 東京 03-5477-9700 山梨 055-222-5822 神奈川 045-847-9720 新潟 025-286-0180 石川 076-280-6608 富山 076-424-2549 福井 0776-21-0622 長野 0263-86-9209 静岡 054-287-9000 愛知 052-819-0225 岐阜 058-278-6720 三重 059-254-5520 滋賀 077-582-5021 京都 075-646-2123 大阪 06-7730-8888 奈良 0743-59-2770 和歌山 073-475-2984 兵庫 078-796-3140 鳥取 0857-26-9695 松江 0852-23-1128 出雲 0853-21-3133 浜田 0855-22-6629 岡山 086-242-6236 広島 082-295-5011 山口 083-973-2720 香川 087-874-3110 徳島 088-624-0253 高知 088-834-3142 愛媛 089-905-7544 福岡 092-593-8002 佐賀 0952-26-9151 長崎 095-830-1658 大分 097-556-3815 宮崎 0985-63-1213 熊本 096-367-6067 鹿児島 099-246-7050 沖縄 098-877-1207
東北地区	
首都圏地区	
中部地区	
近畿地区	
中国地区	
四国地区	
九州地区	
沖縄地区	

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

仕様

電 源	交流 100 V 50 – 60 Hz 共用
消 費 電 力	790 W (シャワーオートクリーニング時)
大 き さ (約)	幅 22.0 cm 奥行 24.5 cm 高さ 34.5 cm
質 量 (約)	2.9 kg
コ ー ド 長 さ (約)	1.0 m

■ ミル

消 費 電 力	80 W
最 大 使 用 容 量	40 g (コーヒー豆)
定 格 時 間	60 秒

■ 抽出

消 費 電 力	750 W
最 大 使 用 水 量	670 ml (1~5 カップ)
温 度 ヒ ュ ー ズ	溶断温度 192 °C

● 電源プラグを差し込んだだけでの消費電力は、約 0.6 W です。

● この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/
パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時~20時
電話 フリー ダイヤル  0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になります。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「340#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)
■上記番号がご利用 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル  0120-878-236
いただけない場合 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は …

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。
パナソニック 修理ご相談窓口

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリー ダイヤル  0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を !



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードに傷が付いたり、触れると通電したりしなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- ガラス容器の取っ手がぐらつく。

ご使用中止

- 事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 ビューティ・リビング事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2014

CZ45-157
S1014-0